

# 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	大学進学重点校	提出日	平成30年2月2日
------	---------	-----	-----------

1 学校目標
「深い学び」「幅広い学び」による高い進路目標の実現 ～探究的な学びの充実と高大接続改革への対応～
2 重点項目に係る目標
1 学校目標達成のための平成30年度重点目標 ○高大接続改革に対応した高い進路目標を実現するための施策の充実 ○学問の奥深さに触れる探究的な授業の研究・実践 ○幅広い教養を身に付け、豊かな人間性を涵養する取組の充実 ○知的総合力をそなえた鳥西グローバル・リーダーの育成 ＜数値目標＞ ○大学合格者数 国公立大学230名、難関10大学・医学科60名（学年生徒数280名） （平成28年度実績 国公立大学224名、難関10大学・医学科45名（学年生徒数320名）） ○国際化に重点を置く大学へ進学する生徒の割合50% （国際化に重点を置く大学：文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」に採択された大学：東京大学、京都大学、大阪大学、広島大学、岡山大学、鳥取大学など） ○卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合15% （平成29年度実績CEFRのB1～B2レベル：22名（学年生徒数320名）6.9パーセント）
3 事業計画（事業名、事業概要）
<p><b>【高等学校課事業】</b></p> <p>○21世紀型能力を育むための講師派遣事業</p> <p>①協同的・探究的な学習をテーマにした校内授業研究会 SGH（スーパーグローバルハイスクール）事業の充実に向け、昨年度の中間評価で浮かび上がった課題として、生徒の探究活動の深化、その評価方法の改善に努める。</p> <p>②英語ディベート活動に関する教職員研修会 高大接続改革に対応するため、生徒が英語をツールとして議論や交渉をできる能力を養成するよう努める。合わせて、新テストで必要とされる英語検定試験、スピーキングテストに対応できる能力を育てる。</p> <p>○鳥取県版キャリア教育推進事業</p> <p>①進路講演会「先輩に聞く」、「大学生に聞く」の開催 高大接続改革に対応するため、特に難関大学への進学に向けて努力する動機付けをするとともに、職業人として広く社会で活躍している姿を見ることによって、生徒個々のキャリアデザインを構想することにつなげていく。</p>

## 【独自事業】

### 特徴的な取り組み

#### ①教科における探究的な授業の研究

協同的な手法を取り入れた授業展開が定着してきたが、さらに思考力や表現力を高めるための探究的な授業の研究を推進する。高大接続改革による大学の個別選抜への対応も進める。

#### ②CLIL的アプローチ授業の推進

英語と他教科の内容と統合することで実践的かつ高度な英語活用能力を育成する。高大接続改革に対応した実用的な英語指導の充実を図る。

#### ③キャリア学習の推進

- ・キャリアセミナー・・・高大接続改革に対応するため学年別進路講演会（生徒・保護者希望者対象）を開催し、学校と家庭の連携を強化する。
- ・ハイレベルセミナー・・・大学の研究者・大学院生等を招き、学問の魅力や研究の最前線を学ぶ。学問の奥深さに触れることで、生徒の高い志を育む。